

編集後記：編集委員会での最近の話題に気象学会のホームページのことが挙げられた。検索エンジンを使って検索すると天気 pdf が引っ掛かるという。確かに私もいくつか思い当たる節がある。pdf の記事自体は内容も確かです安心して読める。しかしそれから後が続かない。せっかく pdf にたどり着いたのだからそこから天気 HP の記事検索や気象学会の HP に飛べるようにしたらどうかという意見も出た。このようにすれば世間での気象学会の認知度もより高まる。

さて pdf の記事が安心して読めるということを行ったが、これは編集委員会で内容をチェックしているからに他ならない。論文・短報・解説類は第三者の査読者の目も通っている。

内容の誤りのチェックはもちろんのこと、天気の読者に読んでもらうことを念頭に分かり易さを心掛けて編集作業は行う。読者に著者の主張を理解してもらう

ようにするのが編集委員の仕事である。

その分野の専門家が読む場合はキーワードとなる専門用語があれば内容は大まかにわかる。しかし専門外の人にとっては専門用語の意味が分からないとお手上げである。論文・短報類は専門家を対象としているのでそれでも構わないが、それ以外の記事例えば気象談話室は気楽に読めるという触れ込みのため編集委員が著者に専門用語を一般の読者にもわかるように書き換えることをお願いすることもある。

天気も1954年創刊以降60巻余りの蓄積がある。これらの記事が学会員以外の人たちの検索に引っ掛かり何かの役に立てばそれもまた編集委員冥利である。

今後とも天気へのご協力をお願いするとともに良い誌面を作るよう編集委員も努力して行きたいと思えます。

(萩野谷成徳)